

都道府県・指定都市

障害者の生涯学習推進に関する担当者連絡会

北海道における 障がい者の生涯学習推進の取組

「都道府県等に期待される役割」

「庁内（教育と福祉）連携、

都道府県等と市区町村等との関わり」

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

都道府県等に期待される役割

障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業

令和7年度

学校卒業後の障がい者の学びの場の拡充

1 関係機関の参画による地域コンソーシアムの形成

- ①地域コンソーシアム会議（年3回）
- ②各地の障がい者の生涯学習に関する取組及び他地域の共生社会コンファレンス等の構成員視察（道内3回、道外1～2回）
- ③障がい者の受入体制向上のための啓発用資料の作成

2 障がい者の生涯学習プログラムを実施する多様な実施主体（市区町村、大学、民間団体等）に対する支援

- ①多様な主体の連携による学習プログラム構築事業
- ②スタートアップ支援学習会
（主管：①②檜山・留萌・宗谷・根室）
- ③障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング

3 障がい者の学びを支援する人材の育成に資する研修（合理的配慮を含む）の実施

- ①障がい者の学びの支援入門講座
- ②障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊
（実施管内：空知・胆振・渡島・オホーツク・根室）

4 地域における関係団体、支援者、障がい者本人等が参加する共生社会コンファレンスの実施

- ①共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道
（特別支援学校との連携、生涯学習推進センターによる調査研究の発信）

5 障がい者の学びに関するニーズや実態、地域の学びの環境に関する調査研究の実施

- ①障がい者の学びのニーズや実態等に関する調査研究
- ②ワーキングチーム会議（3回～5回）※7と兼ねる
- ③障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業成果報告会

6 特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に

プログラム開発

児童生徒への体験的な
生涯学習の意欲向上に向

けた学校及び地域への働きかけ

7 障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕

人材育成

情報を一元的に収集・提供する仕組み

- ②ワーキングチーム会議（3回～5回）※5と兼ねる

普及・啓発

思疎通に困難を伴う障がい者の
に向けた研修事業（主管：十勝）
の活用に向けた啓発

共に学び、生きる共生社会の実現

都道府県等に期待される役割

プログラム開発

多様な主体の連携による学習プログラム開発事業

→ 3 か年かけて14管内で学習プログラムの開発

→ 障がい当事者、当事者団体の参画のほか、

多様な主体の連携

スタートアップ支援学習会

→ 運営者の学びの場の設定

多様な主体の連携による 学習プログラム構築事業

渡島管内「サップに挑戦」



日高管内「うまとふれあい ほっこりタイム」



空知管内「みんなでLet's Try!!」



上川管内「鷹栖町北野地区防災教室」



胆振管内「障がい×学び～聞こえない世界とは～」



十勝管内「ほん×工作」



都道府県等に期待される役割

人材育成

障がい者の生涯学習に関する

理解促進に向けたキャラバン隊

→ 3 か年かけて14管内で研修会の実施

障がい者の学びの支援入門講座（オンライン）

→ 3 か年、「入門講座」というコンセプトで実施

都道府県等に期待される役割

人材育成

障がい者の生涯学習に関する 理解促進に向けたキャラバン隊



網走市 (R7)

障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊 IN オホーツク

オホーツク・文化交流センター 学習室A・B・C

7/23 水 9:30~12:00
(受付9:00~)
申込締切7/18(金)

障がい者の生涯学習の重要性について理解を深め、障がいの有無にかかわらず誰もがともに生涯学習に取り組める社会について一緒に考えてみませんか？

北海道医療大学看護福祉学部
助教 近藤 尚也 氏

道内障がい児・障がい者の身体活動と日常生活および精神生活の支援を主な研究テーマとして、アジア・オセアニア・ヨーロッパの最先端に携わっていらっしゃいます。

NPO法人網走市手をつなぐ育成会



障がいのある子どもたちが心身ともに健やかに育まれ、地域において生きがいを持って暮らせることを目的に様々な活動を行っています。

9:40~10:00/

行政説明

障がい者の生涯学習における現状と進捗の取組
北海道教育庁
生涯学習推進課社会教育部

10:00~11:30/

講演

障がい者の生涯学習推進に向けて
北海道医療大学看護福祉学部
助教 近藤 尚也 氏

11:30~12:00/

事例発表

手をつなぐ育成会の想いと取組
NPO法人
網走市手をつなぐ育成会

12:45~/
備考

網走ブロック社会教育主事等研修会「研究協議」

研究協議は、網走ブロック市町村教育委員会協議会のみで実施します。

申し込み

【主催】
北海道教育委員会
網走ブロック市町村教育委員会協議会

【問い合わせ先】
オホーツク教育推進支援課社会教育部等
高橋 裕子
0152-41-0759
mail: takahashi.yuko@pref.hokkaido.lg.jp



都道府県等に期待される役割

人材育成

障がい者の学びの支援入門講座（R6）

回	日程	内容及び講師
1	オンデマンド受講 （8月下旬配信）	説 明 障害者の生涯学習の推進について 文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
		説 明 改正障害者差別解消法について（解説） 北海道保健福祉部障がい者保健福祉課
2	9月9日（月） 15:00～17:00	講 義 ニーズを踏まえた事業実施に向けて 講 師 北海道医療大学 教授 志 水 幸 氏
3	9月25日（水） 15:00～17:00	実践紹介 障がい者の生涯学習の実際 講 師 いっしょにね！文化祭実行委員会 事務局長 杉 澤 洋 輝 氏 札幌ノースウィンド 代表 岩 崎 圭 介 氏
4	10月10日（木） 15:00～17:00	講 義 地域との連携によるウェルビーイングの実現 講 師 父親ネットワーク北海道 事務局長 （北海道文教大学 教授） 吉 岡 亜希子 氏
5	10月22日（火） 15:00～17:00	講 義 当事者が参画する取組の実施に当たって 講 師 医療法人稲生会 学びのディレクター 松 井 翔 惟 氏
6	11月6日（水） 15:00～17:00	講 義 持続的な学びと余暇活動充実の重要性 講 師 北海道教育大学札幌校 教授 安 井 友 康 氏

都道府県等に期待される役割

普及・啓発

リーフレット

障がいのある方の 学びの体制を 構築するために



障がいのある方の学びの体制を構築するために

令和6年度「障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業」地域連携コンソーシアム会議から

【共に学び、生きる共生社会の実現に向けて】

障がいがある方の多くは、学校卒業後も、学ぶ意欲はあるものの、身近な地域に学ぶ場が十分ではありません。

また、社会の一員として、学んだことや得意なことを地域の中で生かしたくても、周囲の理解が得られず、その機会が不十分だと感じた経験をした方も多いようです。

社会教育主事や社会教育施設のスタッフなど、社会教育に携わる皆様には、「誰一人取り残すことなく、すべての人に必要な学びの機会を提供する」ことの重要性を認識していただき、地域の教育資源や人材を最大限に生かした、多様な学びの機会を広げていくことが求められています。



【新たに取組を開始する上での5つの視点】

道教委では、教育・医療・福祉など多様な専門分野の団体から協力を得て、有識者によって構成される会議を開催し、全道各地の現状と課題を整理するとともに、今後の方策について協議を積み重ねてきました。その中では、これまで取組を行ってきた地域で、障がいのある方も参加できる学びの機会を継続するだけでなく、新たに活動を開始した地域の取組を定着・発展させ、持続していくことの重要性が確認されました。

また、市町村教育委員会や社会教育施設が、学びの支援体制を構築する上で特に重視すべきことについても協議を行いました。本リーフレットでは、その内容を「5つの視点」にまとめ、具体的な実践も交えて紹介します。

視点1 既存の事業や取組を再評価し、アレンジする

多くの市町村教育委員会や社会教育施設においては、専門的な知識を持つスタッフが少なく中で、新たな取組を行うことに高いハードルを感じるかもしれません。

また、これまでの取組をふりかえり、「自分のまちや施設ではほとんど取組を行えていないし、できるのかな？」と消極的になる場合もあるようです。

会議では、「各地の社会教育実践の中には、担当者が気付いていないだけで、優れた内容も多くあり、既存の取組を生かす視点も必要である」との意見が出されました。

●主催事業や施設の受入について再評価を行い、その上で既存の事業の内容を充実したり、アレンジを加えたりする

●既に取組を行う福祉や医療の団体から助言を得たり、共に事業内容を考えてたりする

視点2 障がいの有無に関わらず、参加できる事業構成にする

「障がいの者の生涯学習」と聞くと、障がいのある方に向けて新たな講座を実施しなくてはならないと考える方が多いようですが、共生社会実現のためには、障がいの有無に関わらず、誰もが参加できる事業を増やすことが望まれています。各地の実践を見ると、次のような工夫がされています。

●「食」「スポーツ」「文化交流」など、学びのハードルが比較的低く、誰もが参加しやすいテーマを設ける

●募集チラシに、「障がい者のための」「障がい者に向けて」と記載されると抵抗を感じる方もいるため、「誰もが」「共に」「どなたでも」等の記載を行う

わがまち食料をGet & Eat
(真狩村教育委員会など)

「地域の基幹産業である農業と食をテーマに、ジャガイモやニンジンなどの収穫体験や、ポテトビーズを調理する体験などに取り組む講座を催しました。

障がいのある方にとって、身近で関心のあるテーマを設定したことで、講座参加へのハードルを下げることができました。

様々な体験活動や交流活動に意欲的に参加する姿が見られました。」



視点3 学びの現状を把握し、主体的な学びを保障する

学びを充実させるためには、学習者本人の主体性を引き出すことが重要です。

また、生涯学習の理念を考えた場合、障がいのある方が受講者になるだけでなく、学習の企画から実施まで継続的に関わることも意義深いこととなります。

そのため、事業担当者等は、学習参加者の学びのニーズを把握したり、講座を提供する際の配慮の在り方について十分理解を深めたりすることが大切です。

●医療・福祉の関係者へヒアリングを行う

●特別支援学校や福祉施設で行われる活動の様子を実際に見学する

●障がいのある方が参加するポッチャなどのスポーツ大会に参加する

アイヌ文化を学ぶバスツアー

(医療法人福生会「みらいつくり大学」)
「オンラインで継続してきたアイヌ語講座の参加者からの「皆で集って学びたい」という要望を受けて実施した取組です。

準備段階から、障がいの有無に関わらず、様々な人たちが話し合いを重ねて実施することができました。

本ツアー以外の定期的に関係している講座についても、受講するだけでなく、企画会議などの「場づくり」にも参画できるよう工夫をし、障がいのある方々の主体的な学びを保障するようにしています。」



【特別支援学校の先生からのご意見】

社会教育施設などで校外学習を行う場合には、トイレやオムツの交換場所の有無を確認しています。昼食の際に再調理することもあるため、電源や水道の位置も確認するようにしています。可能であれば、施設のホームページやリーフレットにそのような情報を掲載していただくと、利用へのハードルが下がるので助かります。

都道府県等に期待される役割

普及・啓発

共に学び、生きる

共生社会コンファレンス

in 北海道

R2～R5 開催 ▷ 札幌市

R6 開催 ▷ 旭川市

R7 開催 ▷ 函館市

R8 開催 ▷ ???

同じ目線で 共に学び、生きる 共生社会コンファレンス in 北海道

障がいのある人もない人もみんなで車椅子に乗って同じ目線で学びましょう！
車椅子をお持ちでない方のために会場に車椅子を用意してお待ちしています！

令和6年12月7日(土) 10:30～16:00 受付 10:00～ / 参加無料

会場 旭川市大雪クリスタルホール (旭川市神楽3条7丁目)

第1部 行政説明・講話



<行政説明>
障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について
文部科学省 障害者学習支援推進室長 星川正樹氏

<講話>
立たない立ち飲みバルを始めたきっかけと
車椅子ユーザーである私が伝えたいこと
立たない立ち飲みバル主催・車椅子女子
牧野英保氏

第2部 立たないカフェタイム

みんなで車椅子に乗りながら
同じ目線のコミュニケーションを
楽しみましょう！

展示：バリアフリー図書（協力：道立図書館）
体験：eポッチャ（協力：ミエビディ創発社、スポーツ庁）

※ドリンク・軽食は事前チケット制での提供となります。
※お昼休憩を兼ねておりますので、ご自由に参加ください。

第3部 分科会・トークセッション



<分科会1>
「高校退学し考える特別支援教育」
教員の学校・実務 渡辺 道治氏



<分科会2>
「インクルーシブの未来」
インクルーシブの未来から
インクルーシブの未来から
島 健一朗氏



<分科会3>
「障がい者の生涯学習の観点から」
北海道の社会福祉について考える
北海道社会福祉協議会
松井 剛博氏

<トークセッション>
「誰もが生きやすい未来って？」
立たない立ち飲みバル主催・車椅子女子
牧野英保氏
文部科学省 障害者学習支援推進室 森田 真菜子氏
NPO法人カムイ大空（バリアフリー研究）
五十嵐 典幸氏



令和6年度 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道
参加申込フォーム（右記の2次元コードより必要事項を記入の上、お申し込みください。）

URL: <https://www.harp.lg.jp/oMiARpsI>



お問い合わせ先

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

〒060-8544 北海道札幌市中央区北3条西7丁目 通庁別館 TEL: 011-204-5994 FAX: 011-232-2236

〈主催〉北海道教育委員会 文部科学省

共に学び、生きる 共生社会コンファレンス in 北海道

令和7年 10月30日(木)

第1部 10:30～12:30 第2部 14:00～17:30

会 場

函館市亀田交流プラザ

(函館市美原1丁目26-12)

都道府県等に期待される役割



多様な主体の連携による学習プログラム構築事業（R5）



障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング（R6）



共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道（R5）

○「地域のニーズ・実態」に合わせたアプローチ

▷ 特別支援教育の生涯学習化

▷ 生涯学習活動のユニバーサルデザイン化

庁内（教育と福祉）連携、 都道府県等と市区町村等との関わり

障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業

令和7年度

学校卒業後の障がい者の学びの場の拡充

教育×福祉

1 関係機関の参画による地域コンソーシアムの形成

- ① 地域コンソーシアム会議（年3回）
- ② 各地の障がい者の生涯学習に関する取組及び他地域の共生社会コンファレンス等の構成員視察（道内3回、道外1～2回）
- ③ 障がい者の受入体制向上のため

2 障がい者の生涯学習プログラム（市区町村、大学、民間団体等）

- ① 多様な主体の連携による学習プログラム構築事業
- ② スタートアップ支援学習会
（主管：①②檜山・留萌・宗谷・根室）
- ③ 障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング

3 障がい者の学びを支援する人材の育成に資する研修（合理的配慮を含む）の実施

- ① 障がい者の学びの支援入門講座
- ② 障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊
（実施管内：空知・胆振・渡島・オホーツク・根室）

4 地域における関係団体、支援者、障がい者本人等が参加する共生社会コンファレンスの実施

- ① 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道
（特別支援学校との連携、生涯学習推進センターによる調査研究の発信）

5 障がい者の学びに関するニーズや実態、地域の学びの環境に関する調査研究の実施

- ① 障がい者の学びのニーズや実態等に関する調査研究
- ② ワーキングチーム会議（3回～5回）※7と兼ねる
- ③ 障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業成果報告会

6 特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に資する取組の実施

- ① 特別支援学校や大学等との連携による児童生徒への体験的な学びの機会拡充事業（主管：空知・渡島）
- ② 特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に向けた学校及び地域への働きかけ

7 障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕組みの構築

- ① 障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕組みの構築
- ② ワーキングチーム会議（3回～5回）※5と兼ねる

8 読書や図書館等の利用や意思疎通に困難を伴う障がい者の支援に関する取組の実施

- ① 障がい者の読書環境の整備に向けた研修事業（主管：十勝）
- ② アクセシブルな書籍の充実や活用に向けた啓発

共に学び、生きる共生社会の実現

庁内（教育と福祉）連携、 都道府県等と市区町村等との関わり

教育×福祉

地域コンソーシアム会議 構成員（R7）

氏 名	所 属 等
土 畠 智 幸	医療法人稲生会
宮 崎 隆 志	北海道文教大学
志 水 幸	北海道医療大学
安 井 友 康	北海道教育大学札幌校
吉 岡 亜 希 子	父親ネットワーク北海道
杉 澤 洋 輝	株式会社らむれす
大 原 裕 介	社会福祉法人ゆうゆう
亀 川 義 信	北海道社会福祉協議会
紺 野 順 子	D P I 北海道ブロック会議
五 十 嵐 真 幸	N P O 法人カムイ大雪バリアフリー研究所

氏 名	所 属 等
齊 藤 雄 大	一般社団法人北海道アダプティブスポーツ
森 誠 一	白老町教育委員会生涯学習課
湯 浅 崇	網走市教育委員会社会教育部社会教育課
山 田 努	岩見沢市健康福祉部福祉課
幸 田 賢 一	帯広市市民福祉部福祉支援室障害福祉課
池 田 英 司	北海道千歳高等支援学校
但 田 寛 和	北海道札幌あいの里高等支援学校
津 川 周 一	北海道教育庁学校教育局特別教育支援課
吉 澤 淳 也	北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課
本 田 憲 司	北海道立生涯学習推進センター

庁内（教育と福祉）連携、 都道府県等と市区町村等との関わり

教育×福祉

障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング

6 内 容

13:00	13:15	13:30	14:00	15:00	15:30	16:20	16:30
受付	開会	行政説明	講 義	説明 1	説明 2・質疑	閉会	

- (1) 行政説明：「障害者の生涯学習の推進について」
文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
- (2) 講 義：「障がいの有無にかかわらず学び続けるための図書館サービスのあり方」
北海道立図書館総務企画部企画支援課
- (3) 説 明 1：「北海道における障がい者の状況」
北海道保健福祉部障がい者保健福祉課
- (4) 説 明 2：「道教委における障がい者の生涯学習の取組について」
「教育局における事務手続きや経費の取扱いについて」
社会教育課社会教育指導係

庁内（教育と福祉）連携、 都道府県等と市区町村等との関わり

教育×福祉

障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング

障がいのある人の現状

種別	年齢等	年度	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
身体障がい	18歳未満		4,570	4,394	4,251	3,829	3,746	3,605	3,507	3,510	3,405	3,346	3,231	3,014
	18歳以上		298,126	297,163	295,515	300,456	298,436	296,542	295,029	294,951	293,507	290,756	286,924	279,261
	合 計		302,696	301,557	299,766	304,461	302,182	300,147	298,536	298,461	296,912	294,102	290,155	282,275
	人 口 比		5.5%	5.5%	5.5%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	5.7%	5.7%	5.7%	5.6%	5.5%
知的障がい	18歳未満		12,371	12,795	13,539	13,402	13,827	14,100	14,271	14,271	14,507	14,464	14,532	15,393
	18歳以上		38,819	40,314	41,510	43,708	45,265	46,971	48,777	48,777	50,542	52,272	53,969	56,389
	合 計		51,190	53,109	55,049	57,110	59,092	61,071	63,048	63,048	65,049	66,736	68,501	71,782
	人 口 比		0.9%	1.0%	1.0%	1.1%	1.1%	1.1%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%	1.3%	1.4%
精神障がい	保健所把握数		136,382	143,344	144,430	155,351	157,679	165,022	167,208	170,268	181,970	188,643	196,305	193,472
	精神保健福祉手帳交付数		36,100	40,000	37,463	43,852	46,327	46,986	48,780	49,582	51,295	52,250	56,916	60,375
	保健所把握数の人口比		2.5%	2.6%		2.9%	2.9%	3.1%	3.2%	3.2%	3.5%	3.6%	3.8%	3.8%
	人 口		5,465,451	5,463,045	5,431,658	5,401,210	5,370,807	5,339,539	5,304,413	5,267,762	5,228,732	5,183,687	5,139,913	5,093,983

※ 手帳交付者数は各年度末（保健所把握数は平成26年度（2014年度）まで各年度12月末）現在。

※ 人口は平成24年度（2012年度）までは年度末現在、平成25年度（2013年度）からは翌年1月1日現在。

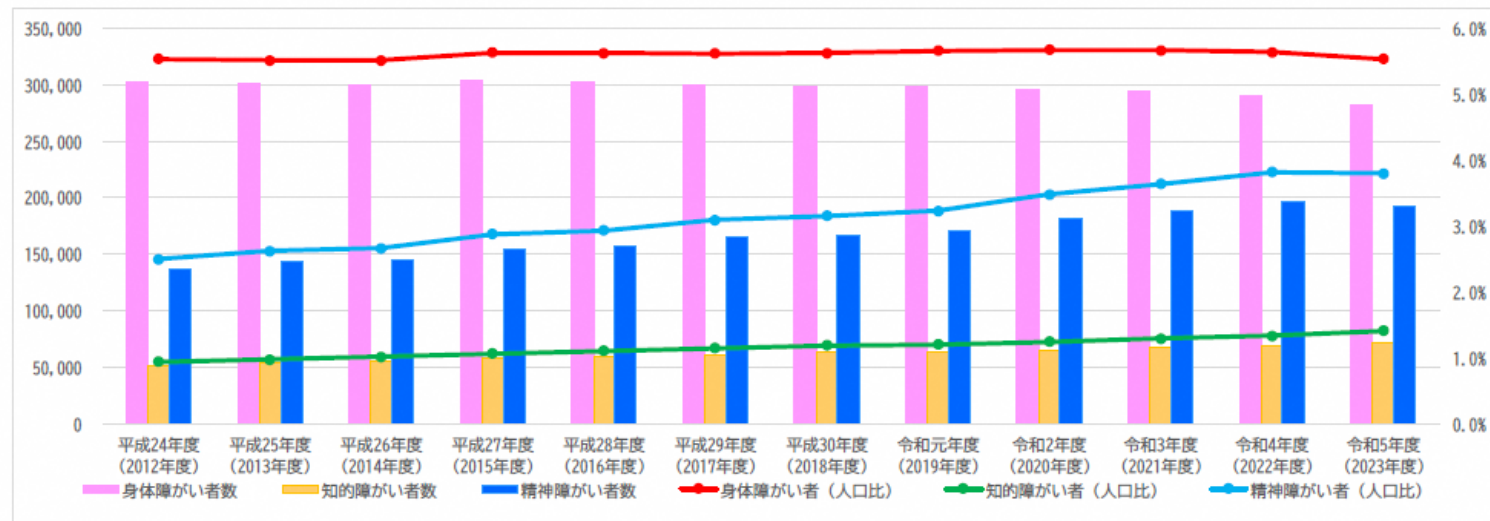
※ 出典：福祉行政報告例、衛生行政報告例、住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査

庁内（教育と福祉）連携、 都道府県等と市区町村等との関わり

教育×福祉

障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング

障がいのある人の現状



庁内（教育と福祉）連携、 都道府県等と市区町村等との関わり

障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業

令和7年度

学校卒業後の障がい者の学びの場の拡充

1 関係機関の参画による地域コンソーシアムの形成

- ① 地域コンソーシアム会議（年3回）
- ② 各地の障がい者の生涯学習に関する取組及び他地域の共生社会コンファレンス等の構成員視察（道内3回、道外1～2回）
- ③ 障がい者の受入体制向上のための啓発用資料の作成

2 障がい者の生涯学習プログラムを実施する多様な実施主体（市区町村、大学、民間団体等）に対する支援

- ① 多様な主体の連携による学習プログラム構築事業
- ② スタートアップ支援学習会
（主管：①②檜山・留萌・宗谷・根室）
- ③ 障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング

3 障がい者の学びを支援する人材の育成に資する研修（合理的配慮を含む）の実施

- ① 障がい者の学びの支援入門講座
- ② 障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊
（実施管内：空知・胆振・渡島・オホーツク・根室）

4 地域における関係団体、支援者、障がい者本人等が参加する共生社会コンファレンスの実施

- ① 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道
（特別支援学校との連携、生涯学習推進センターによる調査研究の発信）

5 障がい者の学びに関するニーズや実態、地域の学びの環境に関する調査研究の実施

- ① 障がい者の学びのニーズや実態等に関する調査研究
- ② ワーキングチーム会議（3回～5回）※7と兼ねる
- ③ 障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業成果報告会

6 特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に資する取組の実施

- ① 特別支援学校や大学等との連携による児童生徒への体験的な学びの機会拡充事業（主管：空知・渡島）
- ② 特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に向けた取組の実施

7 障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕組みの構築

- ① 障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕組みの構築
- ② ワーキングチーム会議（3回～5回）※5と兼ねる

8 読書や図書館等の利用や意思疎通に困難を伴う障がい者の支援に関する取組の実施

- ① 障がい者の読書環境の整備に向けた研修事業（主管：十勝）
- ② アクセシブルな書籍の充実や活用に向けた啓発

北海道×市町村

共に学び、生きる共生社会の実現

庁内（教育と福祉）連携、 都道府県等と市区町村等との関わり

北海道×市町村

- 市町村等のニーズをもとにした人材育成支援
→ 「市町村等主催の研修」をサポート
- 市町村と市町村教委の連携に向けた体制の構築
→ 「社会教育」を窓口
- 地域ごとのコンソーシアムの形成
→ ○○地区（ブロック）コンソーシアム会議

市町村等の自走化